

# 指定管理者が行う公の施設の管理状況全期間評価

施設所管部名：県土整備部

## 1 指定管理者の概要等

施設の名称及び所在	三重県流域下水道施設 北部浄化センター (三重郡川越町大字亀崎新田80-2 他) 南部浄化センター (四日市市楠町北五味塚1085-18) 雲出川左岸浄化センター (津市雲出鋼管町52-5 他) 松阪浄化センター (松阪市高須町3922 他) 宮川浄化センター (伊勢市大湊町1126)
指定管理者の名称等	財団法人三重県下水道公社 理事長 田岡光生(松阪市高須町3922番地)
指定の期間	平成18年4月1日～平成21年3月31日
指定管理者が行う管理業務の内容	・流域下水道の機械施設及び電気施設の操作に関する業務 ・流域下水道の施設、設備及び備品の維持管理に関する業務 ・その他の業務

## 2 管理業務の実施状況

	指定管理者の自己評価	県の評価	全期間におけるコメント
H18	B		指定管理の全期間において、ライフラインである流域下水道施設を適切に管理を行い、汚水処理業務を中断することなく安定したサービスの提供を行っている。また、放流目標水質は、法定排水基準を上回る成果目標を設定し、実績においても概ね成果目標を達成し良質な水質を確保している。コスト縮減についても、発注方法の改善、発生する汚泥の減量化及び職員構成の見直しによる人件費の削減等に継続的に取り組み、成果目標以上の削減が図られている。特に平成20年度は、前年度と比較すると、処理水量が増加しているにもかかわらず、全体のコストは減少させている。
H19	B		
H20	A		

## 3 施設の利用状況

	指定管理者の自己評価	県の評価	全期間におけるコメント						
H18	A		処理水量が次のとおり年々増加するなかで、良好な水質に処理している。						
			平成18年度(m <sup>3</sup> 、前年比%)	平成19年度(m <sup>3</sup> 、前年比%)	平成20年度(m <sup>3</sup> 、前年比%)				
H19	A		北部浄化センター	29,085,868	112.9%	29,275,654	100.7%	30,544,863	104.3%
			南部浄化センター	10,641,459	112.0%	11,208,039	105.3%	11,821,360	105.5%
			雲出川左岸浄化センター	8,356,734	114.7%	8,363,341	100.1%	8,781,760	105.0%
H20	A		松阪浄化センター	5,733,952	116.4%	7,172,201	125.1%	7,440,887	103.7%
			宮川浄化センター	341,184	-	1,102,853	323.2%	1,549,618	140.5%
				54,159,197	114.1%	57,122,088	105.5%	60,138,488	105.3%

## 4 管理業務に関する経費の収支状況(全期間)

(単位：円)

収入の部		支出の部	
指定管理料	6,791,606,147	事業費	6,611,900,801
利用料金収入		管理費	179,705,346
その他の収入	0	その他の支出	0
合計 (a)	6,791,606,147	合計 (b)	6,791,606,147
収支差額 (a)-(b)	0		

## 5 成果目標及びその実績

	指定管理者の自己評価	県の評価	全期間における成果目標及びその実績																											
			放流目標水質（年平均）				BOD				COD				SS				T-N				T-P				汚泥の含水率(%)			
			目標	H18	H19	H20	目標	H18	H19	H20	目標	H18	H19	H20	目標	H18	H19	H20	目標	H18	H19	H20	目標	H18	H19	H20				
H18	B		北部浄化センター																											
			4.0	2.5	2.0	2.0	8.0	7.4	7.0	7.2	3	2	2	2	7.2	6.5	6.6	6.9	0.5	0.4	0.5	0.5	76	74.4	73.5	73.8				
			南部浄化センター																											
			3.0	2.6	1.6	1.4	8.0	7.7	7.4	7.2	3	2	2	2	5.5	5.1	5.1	5.0	0.4	0.4	0.3	0.4	76	73.7	73.5	73.5				
H19	B		雲出川左岸浄化センター																											
			4.0	2.4	2.0	1.6	9.0	8.2	8.1	7.4	3	1	0	0	10	9.1	8.6	7.2	0.6	0.4	0.3	0.3	77	76.1	74.8	75.2				
			松阪浄化センター																											
			1.5	0.8	0.8	<0.5	9.0	6.4	6.0	5.7	<1	0	0	<1	9.0	8.0	7.6	7.8	0.5	0	0	<0.1	76	73.2	73.9	74.1				
			宮川浄化センター																											
			10	3.4	3.4	1.6	10	10	8.1	7.7	10	2	<1	0	9.0	8.4	9.8	7.3	0.5	0.4	0.1	0.2	85	81.4	78.3	76.7				
			コスト縮減目標								目標				H18実績				H19実績				H20実績							
H20	A		施設点検運転監視業務を包括委託化することで歩掛を改訂								設計額1.5%削減				1.59%削減				1.14%削減				1.15%削減							
			再委託業務を複数年で契約(電気設備、計装設備点検業務)								設計額1%削減				4.1%削減				4.15%削減				4.15%削減							
			電力需給契約を長期化								基本料金2%削減				3%削減				3%削減				3%削減							
			脱水土泥の年平均含水率3.8%削減								汚泥処分費8%削減				14.9%削減				17.03%削減				15.74%削減							
全期間におけるコメント																														
<p>放流水質については、法定排水基準を上回る成果目標を設定し、概ね目標を達成し良質な水質を確保している。コスト縮減についても継続的に取り組み、全体として成果目標以上の削減が図られている。特に平成20年度は、放流水質について全ての目標を達成している。</p>																														

## 6 総括コメント

(財)三重県下水道公社は、三重県流域下水道施設の指定管理者として、伊勢湾の水質保全及び改善に積極的に寄与する。いかなる状況下でも安定したサービスの提供を行う。コスト縮減効果を受益者に還元する。ライフサイクルコストの低減を念頭に維持管理を行う等を管理運営の基本方針としている。

こうしたなかで、指定管理の全期間においてライフラインである流域下水道施設を適切に管理を行い、汚水処理業務を中断することなく安定したサービスの提供を行うとともに、放流水質も良質な水質を確保し公共用水域の水質保全及び改善に貢献している。

また、コスト縮減については、継続的なコスト縮減に取り組み大幅なコスト削減が図られており、流域下水道関係市町から高く評価されている。

今後の課題としては、事業の持続性・専門性への対応の観点から、公社の職員構成について、県及び市町からの派遣職員が中心となった構成からプロパー職員の採用を中心とした構成へと転換を図っており、今後も良質な水質を確保するとともに適正で安定したサービスが継続的に提供されるよう必要な技術力を有した人材の育成が課題である。

「2 管理業務の実施状況」の自己評価	「A」	業務計画を順調に実施し、特に優れた実績を上げている。
	「B」	業務計画を順調に実施している。
	「C」	業務計画を十分には実施できていない。
	「D」	業務計画の実施に向けて、大きな改善を要する。
「3 施設の利用状況」	「A」	当初の目標を達成し、特に優れた実績を上げている。
	「B」	当初の目標を達成している。
	「C」	当初の目標を十分には達成できていない。
	「D」	当初の目標を達成できず、大きな改善を要する。
「5 成果目標及びその実績」の自己評価	「A」	当初の目標を達成し、特に優れた実績を上げている。
	「B」	当初の目標を達成している。
	「C」	当初の目標を十分には達成できていない。
	「D」	当初の目標を達成できず、大きな改善を要する。
県の評価	「+」(プラス)	指定管理者の自己評価に比べて高く評価する。
	「-」(マイナス)	指定管理者の自己評価に比べて低く評価する。
	「」(空白)	指定管理者の自己評価と概ね同じ評価とする。